



小田原男声合唱団

第43回定期演奏会



2014.11.15(土) 午後1:15 開場 午後2:00 開演

小田原市民会館大ホール

主催 小田原男声合唱団
後援 小田原市教育委員会
日本男声合唱協会(JAMCA)
神奈川県男声合唱協会(KAMCA)
湘南合唱連盟
小田原地区合唱連盟
小田原音楽連盟



ごあいさつ

小田原男声合唱団
団長 斎藤 恵司



本日はお忙しい中を第43回定期演奏会にお越しいただき、本当にありがとうございます。

さて、今年の定期演奏会では、いくつかの特色を持たせていただきました。

一つ目は、小田男としては久しぶりに客演指揮の先生をお迎えいたしました。これまで1987年に黒岩英臣氏、1991年に多田武彦氏、1996年に石井敏氏など日本の音楽界、合唱界を代表される先生方をお招きしました。また、現在、音楽監督を務められている外山浩爾先生も1992年に客演指揮者として初めて小田男を振っていたいただいた経緯もあります。そのような中、今年には辻秀幸先生をお迎えすることができました。辻先生につきましては、このプログラムの中にもご紹介させていただきます。二男の志朗氏は小田原木曜会の指揮者をされていたこともあり、ご活躍ぶり、経歴等をご紹介させていただきますが、「辻三兄弟」として、そのご活躍は皆様もご存知かとは思いますが、二男の志朗氏は小田原木曜会の指揮者をされていたこともあり、今や日本の合唱界を中心となつて牽引され、多忙な日々をお過ごし、秀幸先生をお迎えできたことは小田男にとり大変光栄なことです。数多くの合唱団を定期的にご指導されている秀幸先生ですが、なんと「男声合唱団を指導するのは初めてなんです。楽しみです。」という言葉を最初にお会いたした際に伺いました。少し意外でしたが、練習の初回から団員一同、先生の情熱的で、豊かな表現力にあふれた指導に圧倒されました。本日の私たちの演奏が少しでも秀幸先生のその情熱に伝えられればと願っています。

二つ目は、小田男が4年ぶりに行った海外遠征での取り組みをプログラムに取り入れたことです。今年の9月27日、ドイツの Sondershausen にて「Albert Fischer Chor (AFC)」との交換演奏会を行いました。AFC が7年前に来日し、その際に小田男と交流演奏会を持ったことが縁で今回の訪独となりました。第1ステージのドイツ語曲は AFC との合同で演奏した曲です。また、第3ステージの愛唱歌集の幾つかは小田男の単独ステージとして外山先生の指揮で演奏し、ドイツの皆さんにも好評をいただきました。

三つ目は、昨年に引き続き「ワンステージメンバー」を募集したことでした。

昨年からは始めたこの企画ですが、昨年のワンステージメンバーから、3名の方が入団という嬉しいこともありました。男声合唱を楽しむ機会を提供し、さらには小田男で歌う楽しみを感じてもらいたい。そんな願いから、この企画は今後も継続させたいと思います。

このように私たちの思いを込めた企画での本日の演奏会です。皆様が少しでも私たちの演奏をお楽しみいただければ幸いです。これまでの小田男へのご支援、ご指導に感謝し、今後も小田男への温かい見守りを宜しくお願ひしご挨拶とさせていただきます。

なお、団内のことで恐縮ですが、10年間にわたり団内指揮者を務めた団員の牛丸紘一氏は、今回の演奏会で団内指揮者を辞することとなりました。小田男として長年のご尽力に心から感謝いたします。

§ プログラム

I ドイツ演奏旅行 より

指揮 杉山 範雄

- 1 Die Nacht 夜 シューベルト作曲
- 2 Die Loreley ローレライ ジルヘル作曲
- 3 Abschied 別れ シュヴァーベン民謡
- 4 Heidenröslein 野ばら ウエルナー作曲
- 5 Der Jäger Abschied 狩人の別れ メンデルスゾーン作曲

II 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

指揮 辻 秀幸
ピアノ 中根 希子

大木惇夫 作詩 佐藤 眞 作曲

～ ワンステージメンバーと共に ～

- 1 農夫と土
- 2 祖国の土
- 3 死の灰
- 4 もぐらもち
- 5 天地の怒り
- 6 地上の祈り
- 7 大地讃頌

休 憩

III 愛唱曲集 より

指揮 牛丸 紘一
ピアノ 中根 希子

- 1 さくら 日本古謡 信長貴富 編曲
- 2 からたちの花 北原白秋 作詩 山田耕筰 作曲 林 雄一郎 編曲
- 3 おてもやん 熊本地方民謡 福永陽一郎 編曲
- 4 そららん節 北海道民謡 清水 脩 作曲 福永陽一郎 編曲
- 5 最上川舟唄 山形県民謡 清水 脩 作曲
- 6 決辺の歌 林 古溪 作詩 成田為三 作曲
- 7 さんぽ 中川李枝子 作詞 久石 譲 作曲 信長貴富 編曲

IV 男声合唱組曲「永久二」

指揮 外山 浩爾
ピアノ 中根 希子
柏木 晶子

- 1 永久二
- 2 星の降る丘
- 3 宇宙のもと

曲目解説

ドイツ演奏旅行 より

4年ぶりに海外遠征を行いました。今年9月27日、ドイツ Albert Fischer Chor (以下 AFC) との交換演奏会。AFC が7年前に来日の際のご縁で、交換演奏会の機会を得て訪独。Sondershausen での演奏となりまりました。AFC との合同演奏曲として両団で選定された曲です。ドイツでのお馴染み、聴き慣れた曲で構成されています。今回、[別れ、狩人の別れ] は1、3番の演奏となります。

紙面の関係で2曲のみの紹介とします。T2 吉本隆一氏による意訳を参照しお聴きください。

ローレライ

原詩の作者は19世紀ドイツの恋愛と革命の詩人ハインリッヒ・ハイネ、作曲者はフリードリッヒ・ジルヒャーで、1824年に作られたライン川中流にあるザンクト＝ゴアースハウゼンという高さ120mの大岩にまつわる伝説を歌ったもの。その大岩に夕暮れになると美女が現れ立ち髪をくしけずり、魅力的なうたを歌うその姿に見とれた舟人が舟を大岩に近づけると、大波がたちまち舟を人を呑み込んでしまうというもの。

題名「ローレライ」の「ローレ」はドイツ語の女性名で「水の妖精」、[ライ]は「岩」を意味し、「水精の岩」、「水魔の岩」。このような水精＝水魔女伝説は古くから世界的に伝承されてきており、ギリシア時代のホメロス叙事詩『オデュッセイア』(BC800年頃)に登場するサイレン水精もその一例である。サイレンは人魚の姿をしており、その美しい歌声を聞いた者は海に呑み込まれてしまうという話で、戦争より帰国途中のオデュッセイアは船中の全員に耳栓をさせ、危難を切り抜けたとの話。今日、危機を知らせる「サイレン」は美歌で人を危めるとこのギリシアのサイレン水精に基づいていると言われる。

野ばら

ゲーテの「野ばら」には、シュューベルト、ヴェルナーだけでなく、十数カ国何十人も作曲家達が曲をつけている。総数約百五十曲に及ぶという研究もある。日本語の訳詞も多く、その代表として最初に訳された勝承夫の「ヴェルナーの野ばら」と近藤朔風の「シュューベルトの野ばら」、[ヴェルナーの野ばら]がある。近藤訳の詞が最も多く歌われている。

シュューベルト(1797~1828)とヴェルナー(1800~1832)とは、同時代であり、二人とも30歳そこそで夭折した音楽家であった。シュューベルトは幼少期から天才的能力を発揮し、その短い生涯に「未完成交響曲」をはじめ、約1200にのぼる作品を残し、約600曲は歌曲リート。その優しく美しい旋律は、「歌曲の王」として讃えられている。バッハ・モーツァルト・ベートーヴェンに続く作曲家として名声を得ている彼も生前はほとんど収入もなく、無名にして貧窮の内に31歳の生涯を閉じている。他方、ヴェルナーは音楽教師、合唱指揮者を務め、少数の歌曲ピアノ曲などを作曲。この「野ばら」だけが際立ち有名である。発表してわずか5年、32歳と夭折の人であった。

男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

この曲は1962年、日本ビクターの委嘱により誕生。詩人・大木惇夫が、大地に根ざした人間の精神から反戦までを綴っている。力強い言葉のアピールと、詩の世界観を深く広く掘り下げる音楽が融合し、独特の壮大さを生み出している。初演時は大編成のオーケストラ版であったが、広く愛唱されるに及び、「歌いやすく、また、アマチュアでもコンサートに取り上げやすく」という要望が生まれ、ピアノ伴奏版、オケ2管編成版、吹奏楽版なども登場。この男声版は早稲大学グラリータの依頼を受け、混声合唱とピアノのためのカンタータ「土の歌」を男声版に編曲したものである。初演は2008年、同グラリー。

大木惇夫(1895~1977)

広島市生まれ。詩人、翻訳者、作詞家。太平洋戦争中の戦争詩で有名だが、『国境の町』などの歌謡曲、合唱曲、児童文学作品等の作品が多い。戦後は戦時中の愛国詩等により非難を浴び、文壇・マスコミから無視を受け、一部の心ある出版社から作品を出しながら、社歌、校歌(40余)、自治体歌の作詞等をしながら生涯を過ごした。

この曲で、大木惇夫の、そこに並ぶ言葉は“戦後”からの脱却と高度成長時代への加速など、混沌としていた当時の空気を現代に伝えてくれるもの。力強い言葉のアピールと、詩の世界観を深く広く掘り下げる音楽が融合して独特の壮大さを生み出している。

第1楽章 [農夫と土] は雄大な風景を描写。自然の恵みの神秘、土への感謝が描かれている。

第2楽章 [祖国の土] 人はみな土に生まれ、土に還っていくという意味の詩で、郷土愛を力強くストレートに訴える行進曲風の音楽。

第3楽章 [死の灰] は広島と長崎の被爆をモテイブに、反戦を訴えかけるレクイエム。

第4楽章 [もぐらもち] は地下にいるモグラの姿を借りて、人の弱さと無常観を歌う。

佐藤 眞(1938~)

東京藝術大学音楽部教授、同音楽学部附属音楽高等学校校長。2006年藝大教授を退官。藝大との関わりが50年に及ぶ。藝大在学中の作品「交響曲第1番」が1961年日本音楽コンクール第1位入賞特別作曲賞受賞、同年の混声合唱組曲「魔王」、翌年のカンタータ「土の歌」等で作曲家としてデビュー。合唱曲、管弦楽曲、ピアノ曲等、多数。

第5楽章 [天地の怒り] は天地異変に翻弄されるはかない人間社会、人間悪を描く劇的な音楽。

第6楽章 [地上の祈り] は大地への祈りと反戦を強く打ち出し、穏やかな平和への祈念を歌い上げている。そして、天からの希望の光が差し込むようにファンファーレが鳴り響き、フィナーレである**第7楽章 [大地讃頌]** へ。大地への限りない讃歌。名曲であり中学・高校では音楽祭、卒業式では当然と言っているほど演奏されてきている。

愛唱歌集 より

AFC との交換演奏会で、小田男ステージとし、永く歌い継いできた曲を中心に新たに編集しました。〔さくら〕はリーダーシャッツ 21 より、〔からたちの花〕〔おてもやん〕〔そうらん節〕〔最上川舟唄〕は名版グラフィックラプアールバムより、〔浜辺の歌〕は林光編曲・日本抒情歌曲集より、そして、〔さんぽ〕は 2006 年、当団が信長貴富先生に編曲委嘱した宮崎駿アニメ映画音楽集より選定しました。

さくら

日本人の心象風景を象徴する古謡。合唱では武満による幻想的で色彩感あふれる秀逸なアレンジがあまりにも有名ですが、このたび、比較的演奏しやすいう「さくら」をとのりクエストにお応えして、恐れながら編曲させていただきました。愁いを含みつつ、淡く薫るような演奏をしていただければと思います。

〈リーダーシャッツ 21 : 信長貴富(原文より)〉

野山ではありませんが、県内1長い9キロ余に及び
延々と続く秦野桜街道はいかがでしょううか。

からたちの花

詩が書かれたのは白秋が 39 歳の時の 1924 年 5 月、小田原に住んでいた頃のこと。水之尾道は白秋が愛した散歩道。伊豆半島も望める美しい小道。そこで既に名をなした詩人は、からたちの花に“再会”し、望郷の念に駆られていた。1 年後輩で 38 歳になった耕筰は白秋の詩を目にしたとき感銘を受け、30 分足らずで作曲したと言う、1925 年 1 月、東京中野に住んでいた時のことであった。

おてもやん

「熊本甚句」またの名「おてもやん」、熊本を代表する曲にのし上げたのは芸者歌手・赤坂小梅。「おてもやん、最近結婚したそうだね。嫁入りはしたけれど、亭主がへんな顔なので、まだ三三九度は挙げてないわ。村役人、世話役、仲人さんたちがいるから、あとは何とかかなるでしょう。……」

そうらん節

北海道、日本海沿岸部の民謡。同地方でニシン漁に従事する「ヤン衆」たちによって、梓網の中に入ったニシンを直径三尺(約 90 センチ)ほどで、

男声合唱組曲「永久二」

鈴木憲夫作品は 2009 年第 38 回定演に於いて、男声合唱組曲「まほえみ」を取り上げ、感謝と喜びを愛する友へ、愛する家族へ、愛する皆様へ〔ありがとう〕の思いを込め歌い上げた。

今回は 2 作品目となる。この組曲は作詩・作曲者である鈴木憲夫氏が諏訪合唱団(混声)から縄文をテーマにした作品をとの依頼を受け、古代に想いを馳せ、初原的な世界の想いを描くことへ強い憧憬により、2001 年に混声とピアノのための曲集として完成した作品である。長野県の諏訪地方は「縄文のビーナス」〔仮面の女神〕に象徴されるように、縄文時代には文化の一大中心地域であった。

混声版当時から、「男声合唱版に～」との声があり、2013 年、全四国男声合唱フェスティバルで委嘱初演され、男声作品として生まれ変わった。以下に、混声作品の完成までの経緯を示すことにする。

星の降る丘

先ず 2000 年 4 月、第 2 章ができあがった。諏訪を何度も訪れていた鈴木憲夫氏は混声の団長である岡野貞男氏に諏訪湖が見下ろせる小高い丘に連れて行ってもらった時、「諏訪ではよく流れ星が見えるんです。」と言われた言葉をもとにこの詩をイメージされたと言う。母と子が星を見つめている姿は今も昔も不変であると歌われる。

永久二

同年 12 月第 1 章ができ、この組曲タイトルと

柄の長さ一丈(約 3 メートル)あまりの大きな網も作業 3 ～ 4 人で用いて、すくい上げる時の沖揚げ作業の仕事唄として歌われてきたもの。

最上川舟唄

山形県西村山郡大江町左沢(あてらざわ)の民謡。1936 年 9 月、NHK 仙台局の「最上川を下る」という番組企画により、左沢の詩人渡辺国俊と同一地の民謡家後藤岩太郎とで作られた。柴橋村(寒河江市)中郷の船頭から教わった掛け声と左沢の船頭の母親が覚えていた「松前くずし」という船頭仲間のやり唄を組み合わせた曲としてまとめられた。清水脩の男声合唱民謡中、最高の傑作。

浜辺の歌

国文・漢文学者であった林古漢が音楽雑誌に作曲教材として掲載した詩に、当時、東京音楽学校の学生であった成田為三が作曲して大正 7 年に発表し、本来 3 番まであったが、作詩者の意思により、今日、2 番までの歌になっている。「浜辺」は辻堂辺りの湘南海岸と言われ、幼い日に散策した時の追憶をうたっている。

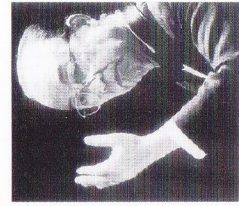
さんぽ

スタジオジブリによるアニメ映画「となりのトトロ」(1988 年)のオープニングテーマ。CD はその前年に先行発売された。作詞の中川李枝子は「ぐりとぐら」等で知られる児童文学作家。久石譲は映画音楽の第一線で活躍する作曲家、ピアノスト。1984 年の「風の谷のナウシカ」を担当して以来、宮崎駿監督作品の 29 年間の長編アニメーションの音楽を全て担当している。子どもたちが元気に歩く様子が目に浮かぶマーチ調の歌でもある。

概要が明らかとなる。日本書紀をもとに古語による詩、次第に古代人の神秘性と呪術性は四手によるピアノの迫力と躍動的な活力ある合唱となる。

宇宙のもと

2001 年 6 月、最後の曲ができる。各パートがそれぞれに主張し絡み合い、生命が満ち溢れていく喜びが、膨らみ、広がりが、真理を伝える声が遠くから聞こえてきて、次第に確信となり、再び 1 章のテーママへと高らかに鳴り響き、「永久二」の劇的なフィナーレを迎える。



外山 浩爾 音楽監督 / 常任指揮者

外山国彦を父に、雄三を兄の音楽一家に生まれ、幼少より音楽教育を受ける。東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業後、同大学及び同附属音楽高等学校で教職に就く傍ら藤原歌劇団の活動に参画し、「森の歌」「ド・ソレルグイエム」等のソロ活動、「カルメン」「蝶々夫人」等、多数のオペラ活動、「歌のメリーコーランド」等のテレビ長期番組のように広範囲で活動をする。他方、合唱活動では、世界合唱連合(現IFCM)設立代表委員、東京都合唱連盟理事長、全日本合唱連盟副理事長等を歴任する。殊に明治大学グリークラブをウィーン音楽祭で銀賞にまで育て、明治大学特別功労賞第1号に輝く。国内外の現代合唱作品の新作初演等の活動を続けて来ている。

教育活動では、東京藝術大学附属音楽高等学校副校長をはじめ東京藝術大学、鳴門教育大学、兵庫教育大学連合大学院教授、聖徳大学大学院教授、全日本音楽教育研究会副会長等を歴任し、文部大臣より教育功労表彰を受ける。全日本音楽教育研究会顧問、東京藝術大学音楽学部同声会副会長、日本合唱指揮者協会会員、NHK全国学校音楽コンクール審査員等を務める。板橋区混声合唱団、世田谷区合唱連盟主宰合唱団ラディアータ、葛飾区民合唱団、共立女子大学合唱団等の指導にあたる。1996年小田原男声合唱団の音楽監督・常任指揮者に就任。



辻 秀幸 客演指揮者

幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。1985年イタリヤのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。1986年イタリヤ・ノバラ市国際声楽コンクール入賞。欧州数都市でベートーヴェン「第九」のソロパートを務め、各地でコンサートに出演し講評を博す。国内でもドイツイタリヤ・日本歌曲を中心にリサイタル活動を展開、オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演。その優れた演技力と歌唱は、新聞音楽誌上で絶賛された。宗教音楽の演奏家としての活躍は特に目覚ましく、バッハ・ヘンデル・ハイドン・メンデルスゾーン・フォーレ等の宗教曲・オラトリオ等の演奏ではソロist・エヴァンゲリスト、指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導に当たるアマチュア合唱団は14団体を数える。洗足学園音楽大学客員教授、日本合唱指揮者協会副理事長、東京都合唱連盟理事、日本演奏連盟会員、連盟季刊誌「ハーモニー」編集委員 [ヒデさんは観た！] 連載本合唱指揮者コンクール審査員を多数務める。共著に「わかって歌おう」レクイエム独音講座、「ファイガロの結婚独音講座」等がある。辻秀幸・佐竹由美、辻志朗・辻悦子、辻裕久・ながにしあかね氏、の音楽一家、6人のコンサート会場は、毎回満席に。



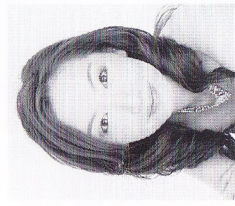
杉山 範雄 指揮者 / ヴォイス・トレーナー

小田原出身。10歳より小田原少年少女合唱隊に入隊、ルネッサンスから現代まで多くのアカペラ・アンサンブルを学ぶ。湘南工科大学附属高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、これまでに、「コンシ・ファン・トゥッテ」ドン・アルフォンソ、「魔笛」ザラストロ、「カルメン」エスカミリーヨ、等を演じ、クープラン「聖スザンナ」のモテット、バッハ「カンタータ」ヨハネ受難曲、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、フォーレ「レクイエム」、「カルミナ・ブрана」等、演奏会・パストラルにて多数出演、小泉ひろし、小林研一郎、飯森範親等、各指揮のもとソロistを務める。また、合唱指導にも意欲的に取り組む。近年では合唱祭の講師等を務める。現在、東京、神奈川を中心に、コーロ・しるふれい、金沢混声合唱団、In Pace、栄女声合唱団、ふぶつの会、鎌倉市民混声合唱団、北鎌倉女声合唱団、アンサンブル碩、等の常任指揮者を務める他、サウンドブリッジ合唱団、JVC合唱団、コーロ・ワオレスタ、横浜混声合唱団の指揮者を務めている。桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」、明治大学グリークラブ、小田原男声合唱団等、の歌唱指導に取り組んでいる。さがみ・コミュニケーション・ホール文化事業やさいい合唱講座、等講師。神奈川県合唱連盟理事。声楽を多田羅迪夫、桑原妙子の各氏に師事。 2010年小田原男声合唱団の指揮者ヴォイス・トレーナーに就任。



牛丸 紘一 団内指揮者

小中学校の頃より器楽合奏部・吹奏楽部に入り音楽に親しんでいたが高校で合唱に出会い、以後今日に至るまで「合唱命」の生活を送る。高校の恩師により合唱指揮と和声の指導を受けて指揮を始め、大学時代は母校金沢大学合唱団の指揮者を務めて学生生活の大半を部室で過ごした。卒業後は京都にて製菓会社にて勤務の傍ら、京都で最も伝統のある京都混声合唱団に入団、副指揮者・指揮者を務めた。この間、京都市交響楽団との協演の機会にはバッハの「マタイ受難曲」、ハイドンの「四重奏」、ベートーヴェンの「第九」、モーツァルト、ドボルザーク、ヴェルディ、フォーレ、デューク・エルクマン、メンデルスゾーンの「エリヤ」、マラーの「復活」、ラベルの「ダフニスとクロエ」等の合唱指導を担当した。また、自社会合唱団を率い、産業界合唱コンテストや音楽祭で優秀な成績を取ったほか、女声合唱団等の指揮者としても活躍した。星旭、中村外治、青山政雄、威田裕行、外山浩爾氏に指導を受ける。日本新薬(株)取締役を歴任。1995年、転勤により小田原へ移住し当団に入団、2005年より団内指揮者を務めている。



中根 希子 ピアノ

平塚江南高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。第4回かながわ学生音楽コンクール入賞、県市長会会長賞受賞。第3回長江杯国際音楽コンクール第2位。ウィーン、シカゴ等での音楽セミナー・マスタークラス参加、ディプロマ取得、修了演奏会に出演。1999年東京都庭園美術館コンサートでは、若手実力派演奏家として毎日新聞に掲載。同年、ポーランド共和国大使館後援「日本ポーランド国交樹立80周年記念および国際シヨパン記念演奏会」に出演。2007年以降毎年開催の「市民による小田原音楽フェスティバル」では、小林研一郎・末廣誠・広上淳一・富澤裕・山田和樹の各氏指揮のもと、第九・モーツァルトレクイエム・オペラ合奏曲・ドイツレクイエム・メンデルスゾーン講義の演奏会でピアノアシスタントを務める。2011年には自ら石井敏作作曲「ヴィオラ・ソナタ」を磯良男氏と協演。他方、2009年ウィーン・フィル・メンバー・シユティテ・弦楽四重奏団と共演。2012年小田原でのソロリサイタルを開催。生誕150年を記念しヒュンツィー、リストを演奏、大好評を博し聴衆を魅了。国内外のリサイタル活動はもとより、歌曲、合唱曲伴奏、室内楽等の演奏会やレコーディング、FMおだわらの出演CD製作等幅広く活躍。また、2013年豊嶋泰嗣ヴァイオリンコンサートにおいてピアノを、2014年には小田原ファイナルハーモニー管弦楽団とベートーヴェン「交響曲第4番」を演奏し講評を博す。植田克己、佐藤俊、ノエル・フロレスの各氏に師事。



柏木 晶子 ピアノ

小田原高校卒業。フェリス学院大学音楽部卒業。同大学院修了。第56期二期会オペラ研修所修了。第13・16回かながわ音楽コンクール入選。“市民による小田原音楽フェスティバル”において、ピアノアシスタントを務める。セツコ・ル・エスクール・ピアニスト。ヤマハ音楽教室講師。ピアノを曽我芳江、中根希子の各氏に師事。

平成26年度(2014年)事業計画、当面の主な事業等

(1)	2014.	1. 7	(火)	歌いはじめ	旭丘高校音楽室	
(2)		2. 23	(日)	平成25年度 総会	旭丘高校音楽室	
(3)		3. 8	(土)	みんがで歌おう! 市民によるハートヴェン[第1] ゲネプロ(協力)	小田原市民会館	大H
(4)		3. 9	(日)	みんがで歌おう! 市民によるハートヴェン[第1] 演奏会(協力)	小田原市民会館	大H
(5)		9. 6	(土)	強化練習(合宿)泊 9:30~18:00	いこいの村あしがら	
(6)		9. 7	(日)	強化練習(合宿) 8:30~16:30	いこいの村あしがら	
(7)		9. 27	(土)	ドイツ演奏旅行 交換演奏会(9/25~10/1)	Sondershausen	
(8)		10. 19	(日)	第48回 小田原市民合唱祭	小田原市民会館	大H
(9)		11. 11	(火)	定期演奏会 リハ1 18:30~	旭丘高校音楽室	
(10)		11. 14	(金)	定期演奏会 リハ2 18:00~	小田原市民会館	大H
(11)		11. 15	(土)	第43回 定期演奏会	小田原市民会館	大H
(12)		12. 7	(日)	JAMCA 合同曲練習(永久二・トコジニ)	東京会場(港区芝公園 明德幼稚園)	
(13)		12. 23	(祝)	JAMCA 合同曲練習 歌いおさめ	小田原会場(旭丘高校 音楽堂)	
(1)	2015.	1. 6	(火)	歌いはじめ	旭丘高校音楽室	
(2)		1. 24	(土)	第22回 JAMCA 日本男声合唱協会 演奏会(じゃが歌) 西リハ	伊丹市立文化会館	いたみH
(3)		1. 25	(日)	第22回 JAMCA 日本男声合唱協会 演奏会(じゃが歌) ノ演奏会	伊丹市立文化会館	いたみH
(4)		2. 21	(土)	KAMCA 神奈川男声合唱協会 交流演奏会(非公開)	ハーモニーH座間	
(5)		3. 15	(日)	みんがで歌おう! 根によるモーツァルトワグネル演奏会(協力)	小田原市民会館	大H
(6)		7. 19	(日)	第64回 湘南合唱祭	秦野市文化会館	大H

第44回 定期演奏会 12月初旬予定 開場 13:15 開演 14:00 小田原市民会館 大ホール

予定曲目 男声合唱組曲「水のいのち」ピアノ付
1雨 2水たまり 3川 4海 5海よ

高野喜久雄 作詩 高田三郎 作曲

堀口大学 作詩 清水 脩 作曲

男声合唱組曲「月光とピエロ」

1月夜 2秋のピエロ 3ピエロ 4ピエロの嘆き
5月光とピエロとピエレットの唐草模様

を予定しています。他、選曲中

随時 募集 !! いっしょに歌いましょう !!

年齢 高校生~80歳代と、幅広い年齢層です。

性別 男性で、歌好きであれば、どなたでも歓迎です。復団された方もたくさんいます。

勿論、初めての方でも大丈夫です。お気軽にお越しください。練習用・パート別音取りCD等を用意します。

隔年の日本男声合唱協会、神奈川男声合唱協会の演奏会では、400余名による合同曲も演奏できます。

すまい 小田原・湯河原・伊東・南足柄・二宮・茅ヶ崎・藤沢・鎌倉・横浜

練習日 松田・大井・中井・秦野・伊勢原・厚木・厚木・横須賀・岡山市赤警市と広範囲です。

連絡先 毎週火曜日 18:30~20:50 小田原 旭丘高等学校 (小田原よりお城方、徒歩7分)

鈴木壽久 TEL 0465(73)8328 岩越万里 TEL 0465(34)9177 青野幸夫 TEL 0463(87)2473

ワンステージ メンバー 募集 《2015年12月予定の第44回定期演奏会で、一緒に歌いましょう!!》

年齢 高校生~80歳代と、年齢制限はありません。

性別 男性で歌好きであれば、どなたでも歓迎です。ワンステージと一緒に歌いましょう!

初めての方でも大丈夫です。練習用・パート別音取りCD等を用意します。

練習日 火曜日 18:30~20:50 小田原 旭丘高等学校 (小田原よりお城方、徒歩7分)。

3月より、月1~2回平均 1.5回程度を予定(練習日等の詳細は下記連絡先まで)。

練習日程等 詳細は3月からご案内します。問い合わせ先 佐 斎藤 0463-63-3629 青野 0463-87-2473

参加費用 5000円(月会費なし)。楽譜代は実費です。募集は1月より受けつけます。

ステージ衣装は黒のスーツ(シングルorダブル)です。ご安心を。曲目「月光とピエロ」。(「水のいのち」も可)

委嘱曲 への歩み

2001年	第30回記念 定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 石川県・欽沢) 大木 惇夫 作詩 多田 武彦 作曲
2006年	第35回記念 定期演奏会 委嘱曲	北原 白秋 作詩 多田 武彦 作曲 中川 李枝子 作詞 久石 譲 作曲 覚 和歌子 作詞 木村 弓 作曲 中川 李枝子 作詞 久石 譲 作曲
2008年	第37回 定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 大分にて) 初演 信長 貴富 編曲 信長 貴富 編曲
2009年	第38回 定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 讃にて) 初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
2011年	第40回 記念定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 札幌にて) 初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	男声合唱とピアノのための「四季點綴(いまだいてい)」	初演 (JAMCA 札幌にて) 初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	小田原地区合唱連盟40周年記念	初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	男声合唱とピアノのための「赤い鳥小鳥」-北原白秋謹識-	初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	第40回 記念定期演奏会 委嘱曲	初演 (JAMCA 札幌にて) 初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	男声合唱とピアノのための「わが詩友」	初演 (JAMCA 札幌にて) 初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲
	男声合唱組曲「達治の旅情」	初演 委嘱曲 信長 貴富 編曲

Members 2014

小田原男声合唱団

T1	加藤 重喜 (秦野市)	T2	青野 上利 (秦野市)	B1	青野 正純 (小田原市)	B2	赤川 軍一 (伊勢原市)
加藤 元一男 (大磯町)	加藤 正純 (小田原市)	鬼澤 精孝 (藤沢市)	熱田 隆純 (南足柄市)	網盛 一郎 (小田原市)	隆純 隆純 (南足柄市)	一色 義信 (秦野市)	
齋藤 惠司 (伊勢原市)	精孝 健二 (二宮町)	佐藤 健二 (南足柄市)	岩越 牛丸 (小田原市)	岩越 万里 (小田原市)	万里 万里 (小田原市)	幸男 忠彦 (小田原市)	
佐野 惠 (岡山県赤穂市)☆	杉本 昇次 (小田原市)	杉本 健二 (南足柄市)	牛丸 江川 卓男 (鎌倉市)	牛丸 紘一 (小田原市)	紘一 紘一 (小田原市)	忠彦 紘一 (小田原市)	
諏訪部 清修 (中井町)	高瀬 隆 (二宮町)	高瀬 隆 (二宮町)	江川 大塚 常昭 (小田原市)	江川 卓男 (鎌倉市)	卓男 常昭 (小田原市)	敏雄 敏雄 (大井町)	
福嶋 哲夫 (小田原市)	福井 達男 (小田原市)	福井 達男 (小田原市)	岡部仁之助 小澤 一 (小田原市)	大塚 常昭 (小田原市)	常昭 一 (小田原市)	古林源次郎 (二宮町)	
堀内 高嶺 (秦野市)	山中 允彦 (茅ヶ崎市)	山中 允彦 (茅ヶ崎市)	小澤 一 (小田原市)	岡部仁之助 小澤 一 (小田原市)	一 (小田原市)	坂口 宗夫 (小田原市)	
水城 吉本 (小田原市)	山本 洋之 (小田原市)	山本 洋之 (小田原市)	菊池 興彦 (小田原市)	小澤 一 (小田原市)	義彦 興彦 (小田原市)	佐々木秀昭 (秦野市)	
	☆ 団友	☆ 団友	下村 茂毅 (小田原市)	菊池 興彦 (小田原市)	興彦 茂毅 (小田原市)	鈴木 達也 (南足柄市)	
	・ 新団員	・ 新団員	高橋 隆行 (秦野市)	下村 茂毅 (小田原市)	茂毅 隆行 (秦野市)	田島 長谷川 滋二 (湯河原町)	
			西山 隆一 (小田原市)	高橋 隆行 (秦野市)	隆行 隆一 (小田原市)	長谷川 滋二 (湯河原町)	
			吉本 水城 (高嶺)	西山 隆一 (小田原市)	隆一 水城 (高嶺)	廣瀬 友二 (秦野市)	
			高橋 茂樹	吉本 水城 (高嶺)	水城 高嶺	柳田 圭一 (湯河原町)	

ワンステーションメンバー

T1	大竹 幸二 (秦野市)	T2	関野 文男 (南足柄市)	B1	伊東 清邦 (秦野市)	B2	亀山 忠彦 (小田原市)
高桑 邦安 (横須賀市)	関野 文男 (南足柄市)	関野 文男 (南足柄市)	伊東 清邦 (秦野市)	伊東 清邦 (秦野市)	清邦 清邦 (秦野市)	千葉陽一郎 (海老名市)	
西山廣木代 (二宮町)	吉本 水城 (高嶺)	吉本 水城 (高嶺)	加藤 和信 (小田原市)	加藤 和信 (小田原市)	和信 和信 (小田原市)	松尾 重治 (伊東市)	

音楽監督

常任指揮者

外山 浩爾

客演指揮者

辻 秀幸

指揮者

ヴォイストレーナー

杉山 範雄

ピアノ

中根 希子

柏木 晶子

運営スタッフ

団 長

副 団 長

団内指揮者

技術部長

事務局長

財政部長

団員部長

事業部長

渉外部長

情報部長

斎藤 惠司

青野 幸夫

牛丸 紘一

牛丸 紘一

岩越 万里

笠原 紘

鈴木 壽久

杉本 健二

大塚 常昭

加藤 重喜

演奏会スタッフ

委員長

事務局

会 計

出 台

舞 台

録 音

録 画

写 真

渉 外

打上げ

チラシ

アパウンス

音取り譜例

受付案内

杉本 健二

岩越 万里

笠原 紘

上利 宏司

各パートリーダー

桃井 真也

日置 達男

坂口 宗夫

加藤 重喜

大塚 常昭

鈴木 壽久

杉本 健二

石崎 雅美

柏木 晶子

高エコーコーラス

市レセプション